様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1 -①を用いること。

学校名	横浜デジタルアーツ専門学校
設置者名	学校法人岩崎学園

1.「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名 学科名 福間・						
専門課程 イティブ学科 通信 360時間 320時間 総合デザイン科 (新・旧カリキュラム共通) 夜・ 通信 270時間 240時間 ゲーム科 (新・旧カリキュラム共通) 夜・ 通信 270時間 240時間 CG 科 (CG アニメーションコース) 通信 270時間 240時間 グラフィック科 イラストコース 夜・ 通信 180時間 160時間 グラフィック科 イラストコース 夜・ 通信 180時間 160時間 グラフィック科 デザインコース 夜・ 通信 180時間 160時間 ジュージック科 ボーカリストプレイヤーコース 通信 夜・ 通信 210時間 160時間 ミュージック科 DTM コース 夜・ 310時間 210時間 160時間 ミュージック科 を・ 320時間 210時間 160時間	課程名	学科名	通信 制の	る教員等によ る授業科目の 単位数又は授	基準単位数又	置困
通信		•		360時間	320時間	
通信				270時間	240時間	
CG アニメーションコース 通信 CG 科 夜・ グラフィック科 夜・ イラストコース 通信 グラフィック科 夜・ イラストコース 通信 グラフィック科 夜・ 通信 180時間 デザインコース 通信 ミュージック科 夜・ ボーカリストア レイヤーコース 通信 ミュージック科 夜・ シロージック科 夜・ シコージック科 夜・ シコージック科 夜・ シコージック科 夜・ シコージック科 夜・ シコージック科 夜・ ショージック科 夜・ ショージック科 夜・ ショージック科 夜・ ショージック科 夜・ ショージック科 で・ ショージック科 で・ ショージック科 で・ ショージック科 で・ ショージック科 で・ ショージック科 で・ ショージ・ ショージャーショー ショージョー ショー ショー ショー ショー ショー ショー ショー ショー ショー		/ ' '		270時間	240時間	
ゲーム CG コース通信グラフィック科 イラストコース グラフィック科 デザインコース 通信180時間 160時間Web デザイン科 ボーカリストプ・レイヤーコース 直信180時間 通信ミュージック科 ボーカリストプ・レイヤーコース 通信210時間 160時間ミュージック科 アース 通信210時間 210時間シュージック科 の 通信210時間 210時間シュージック科 の 通信210時間 210時間				270時間	240時間	
イラストコース グラフィック科 デザインコース通信180時間 通信160時間Web デザイン科夜・ 通信180時間 通信160時間ミュージック科 ボーカリストプ・レイヤーコース 通信210時間 通信160時間ミュージック科 DTM コース ミュージック科 ラース 通信210時間 210時間160時間			P 4	270時間	240時間	
グラフィック科 デザインコース 夜・ 通信 180時間 160時間 Web デザイン科 通信 夜・ 通信 180時間 160時間 ミュージック科 ボーカリストプ・レイヤーコース 通信 夜・ 道信 210時間 160時間 ミュージック科 DTM コース 三ュージック科 夜・ シュージック科 で・ シュージック科 で・ ショージック科 フェージック科 で・ ショージック科 で・ ショージック科 で・ ショージック科 で・ ショージック科 ショージック科 ショージック科 で・ ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージック科 ショージックター ショージックター ショージックター ショージックター ショージックター ショージックター ショージックター ショージックター ショージャーショーショー ショーショーショーショーショーショーショーショーショーショーショーショーショーシ				180時間	160時間	
Web デザイン科 夜・ 通信 180時間 160時間 ミュージック科 ボーカリストプ・レイヤーコース 通信 夜・ 通信 210時間 160時間 ミュージック科 DTM コース ミュージック科 ミュージック科 で・ ミュージック科 で・ 210時間 160時間 ミュージック科 ミュージック科 夜・ 210時間 160時間		グラフィック科		180時間	160時間	
ミュージック科 夜・ 210時間 160時間 ボーカリストプ・レイヤーコース 通信 ミュージック科 夜・ 210時間 160時間 DTM コース 通信 ミュージック科 夜・ 210時間 160時間			夜 •	180時間	160時間	
ミュージック科 DTM コース夜・ 通信210時間 通信160時間ミュージック科 で・210時間160時間			夜•	210時間	160時間	
ミュージック科 夜・ 210時間 160時間		ミュージック科	夜 •	210時間	160時間	
		ミュージック科	夜 •	210時間	160時間	

(備考)

- ・メディアクリエイティブ学科は令和5年度新設(令和8年度完成)。
- ・総合デザイン科の1・2年生は新課程、3年生は旧課程。
- ・ゲーム科の1・2年生は新課程、3年生は旧課程。

2.「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

教職員室での備え付け

3.	要件を満たすことが困難である学科
	学科名
	(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校 法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いる こと。

学校名	横浜デジタルアーツ専門学校
設置者名	学校法人岩崎学園

1. 理事(役員)名簿の公表方法

法人本部事務所に備え付け

2. 学外者である理事の一覧表

_ 1万日でのる社事の 売収								
常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割					
非常勤	弁護士	令和 4 年 12 月 1 日 ~ 令和 8 年 11 月 30 日	法人運営に関する 助言と指導					
非常勤	大学名誉教授	令和 4 年 12 月 1 日 ~ 令和 8 年 11 月 30 日	当法人教学組織への 助言と指導					
(備考)								

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	横浜デジタルアーツ専門学校
設置者名	学校法人岩崎学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法 や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度4月に公開。

- ·科目名、授業方法、授業時間数
- ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール)
- ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書
- 目標資格
- ・履修上の注意
- · 成績評価方法
- ・年間授業計画(単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目)

授業計画書の公表方法 | 教職員室での備え付け

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、 学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定して いること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点(課題評価点等)で総合評価点を算出する。A、B及びCを合格、Dを不合格とする。

(評価基準)

・4 段階評価の場合(100 点法)

A: 100~80点 B: 79~70点 C: 69~60点 D: 59~0点

・2 段階評価の場合

認:合格 否:不合格

※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4分の1を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとと もに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各科目の総合評価に応じて下記 Grade Point (GP)を付与。授業時間数で Grade Point Average (GPA)を算出する。

対象科目

当該年度履修科目(但し、2段階評価は対象外)

Grade Point (GP)

A: 3. 0 B: 2. 0 C: 1. 0

D(不合格):0

Grade Point Average (GPA)

- = (GP×履修科目の授業時間数)の全履修科目総和
- ·当該年度履修科目の総授業時間数

小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。

客観的な指標の 算出方法の公表方法 教職員室での備え付け

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

デジタルコンテンツ制作に携わる人材育成という目標のために編成されたカリキュラムのもと、以下のような能力を身につけ、全教育課程を修了した者を卒業と認定する。

- ・2年間、3年間または4年間のカリキュラムの履修を通し、現場で必要とされる高度な技術と知識を身につける
- ・専門的な実習を通して、クリエイティブな現場で活躍するためのコミュニケーション能力を身につける
- ・学生生活における様々な経験を通して、豊かな人間性と課題解決力を身につける

卒業の認定に関する 方針の公表方法 教職員室での備え付け

様式第2号の4-②【4)財務・経営情報の公表(専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4 -①を用いること。

学校名	横浜デジタルアーツ専門学校
設置者名	学校法人岩崎学園

1. 財務諸表等

V1.171 RD 377 /1	
財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.iwasaki.ac.jp/financial_2024.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.iwasaki.ac.jp/financial_2024.html
財産目録	https://www.iwasaki.ac.jp/financial_2024.html
事業報告書	https://www.iwasaki.ac.jp/financial_2024.html
監事による監査報告(書)	https://www.iwasaki.ac.jp/financial_2024.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分)野	課程名	<u></u>	学科名 専門士		学科名 専門士 清		学科名 専門士 高度専		専門士		専門士
文化・	教養	文化・教養専門課	程	メディア クリエイティブ学科								0
修業	昼夜	全課程の修了	了に必要な総		開設	して	いる授業	業の種	€ 類			
年限	生仪	授業時数又に	は総単位数	講義	演習		実習		験	実技		
4年	昼		450 単位時間 /単位	単位時	590 	単位時間 /単位	単位!	時間 単位	単位時間 /単位			
		単位	拉時間/単位				5040 単	单位時	間/	/単位		
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	数 専任	専任教員数		兼任教員数		総	教員数		
	80 人	67 人	0	人	3	人	1	1人		14 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度4月に公開。

- ·科目名、授業方法、授業時間数
- ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール)
- ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書
- 目標資格
- ・履修上の注意
- · 成績評価方法
- ・年間授業計画(単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目)

成績評価の基準・方法

(概要)

シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点(課題評価点等)で総合評価点を算出する。A、B及びCを合格、Dを不合格とする。(評価基準)

・ 4 段階評価の場合(100 点法)

A: 100~80 点

B: 79~70点 C: 69~60点 D: 59~0点 ・2段階評価の場合

> 認:合格 否:不合格

※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4分の1を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。

卒業・進級の認定基準

(概要)

各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修了 した者を卒業と認定する。

学修支援等

(概要)

個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他		
0 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0人 (0%)		

(主な就職、業界等)

令和5年度新設のため対象者なし。

(就職指導内容)

就職指導担当教職員・担任による就職指導

(就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、

コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等) などを行っていく。

(主な学修成果(資格・検定等))

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	6 人	15.4%

(中途退学の主な理由) 体調不良、進路変更

(中退防止・中退者支援のための取組)

分)野	課程名	課程名 学科名 専門士		学科名			高度	専門士	
文化・	教養	文化・教養専門課	程 総合デ	総合デザイン学科						
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総		開設	じて	ている授業	美の種	類	
年限	生权	授業時数又に	講義	演習	習	実習	実	験	実技	
3年	昼		2700 年生は 2700) 立時間/単位	540 (540) 単位時間 /単位	(24 単位 / <u>i</u>	単位	単位時間 /単位 0 (2970) 肖		単位	単位時間 /単位 /単位
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	数 専任教員		数	兼任教員数		総	:教員数
	120 人	121 人	0	人	3	人	1	2人		15 人

※令和5年4月1日に学則変更を実施。

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度4月に公開。

- ·科目名、授業方法、授業時間数
- ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール)
- ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書
- 目標資格
- ・履修上の注意
- · 成績評価方法
- ・年間授業計画(単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目)

成績評価の基準・方法

(概要)

シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点 (課題評価点等) で総合評価点を算出する。A、B及びCを合格、Dを不合格とする。

(評価基準)

・4段階評価の場合(100点法)

A: 100~80点 B: 79~70点 C: 69~60点 D: 59~0点 ・2段階評価の場合

> 認:合格 否:不合格

※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4分の1を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。

卒業・進級の認定基準

(概要)

各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修了 した者を卒業と認定する。

学修支援等

(概要)

個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
55 人 (100%)	0人 (0%)	43 人 (78. 2%)	12 人 (21. 8%)

(主な就職、業界等)

広告業界、印刷業界、Web業界

グラフィックデザイナー、Webデザイナー

(就職指導内容)

就職指導担当教職員・担任による就職指導

(就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、

コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等) などを行っていく。

(主な学修成果(資格・検定等))

色彩検定2級、3級、DTP検定ビジネス

Webクリエイター能力認定試験スタンダード

(備考) (任意記載事項)

т	(全)目	$\Rightarrow \sigma$	現狀
	1715 1129		ノンかいイハ

十些色子的先代		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
141 人	4 人	2.8%

(中途退学の主な理由)

体調不良、経済状況、進路変更

(中退防止・中退者支援のための取組)

分	·野	課程名	<u></u>	科名 専門士		専門士		専門士		高度	専門士
文化	教養	文化・教養専門課	程 ゲ	ーム科			0				
修業	日本	全課程の修了	了に必要な総		開設	じて	ている授業	美の種	類		
年限	昼夜	授業時数又に	は総単位数	講義	演習	習	実習	実	験	実技	
3年	昼	(3 年	2700 生生は 2700)	855 (855) 単位時間 /単位	211 (211 単位 ⁶ / j	15)	単位時間 /単位		単位	単位時間 /単位 7 0)	
			(3年生は 2700) 2970(2970) 単位時間/単位 単位時間/単位				•				
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	数 専任	教員	数	兼任教	員数	総	教員数	
1	20人	157人	1	人	5	人		1人		6人	

※令和5年4月1日に学則変更を実施。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度4月に公開。

- 科目名、授業方法、授業時間数
- ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール)
- ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書
- 目標資格
- ・履修上の注意
- · 成績評価方法
- ・年間授業計画(単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目)

成績評価の基準・方法

(概要)

シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点 (課題評価点等) で総合評価点を算出する。A、B 及び C を合格、D を不合格とする。

(評価基準)

・4段階評価の場合(100点法)

A: 100~80点 B: 79~70点 C: 69~60点 D: 59~0点

・2 段階評価の場合 認・合格

認:合格 否:不合格

※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4分の1を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。

卒業・進級の認定基準

(概要)

各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修 了した者を卒業と認定する。

学修支援等

(概要)

個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

	,			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
5 4 人	0人	49人	5人	
(100%)	(0%)	(90.7%)	(9.3%)	

(主な就職、業界等)

ゲーム業界、IT業界 プログラマ

(就職指導内容)

就職指導担当教職員・担任による就職指導

(就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、

コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等)

(主な学修成果(資格・検定等))

基本情報技術者試験、ITパスポート試験、CGクリエイター検定ベーシック

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
169人	3人	1.8%

(中途退学の主な理由)

進路変更、学業不振

(中退防止・中退者支援のための取組)

分	野	課程名	学	4科名			専門士		高度	専門士							
文化	・教養	文化・教養専門課	桯	CG科 CGアニメーションコース		' '		' '				• •		\circ			
修業	昼夜	全課程の修了	了に必要な総		開設	じて	ている授業	美の種	種類								
年限	生仪	授業時数又に	は総単位数	講義	演習	此位	実習	実	験	実技							
3年	昼	単位	2700 立時間/単位	360 単位時間 /単位	単位	単位	単位時間 /単位 2 7 0 0 単		単位	単位時間 /単位 /単 位							
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	数 専任	教員	数	兼任教	員数	総	教員数							
2	40人	77人	0	人	4	人		6人		10人							
	の内数				の内	数	の	内数		の内数							

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度4月に公開。

- ·科目名、授業方法、授業時間数
- ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール)
- ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書
- 目標資格
- ・履修上の注意
- · 成績評価方法
- ・年間授業計画(単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目)

成績評価の基準・方法

(概要)

シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点 (課題評価点等) で総合評価点を算出する。A、B及びCを合格、Dを不合格とする。

(評価基準)

・ 4 段階評価の場合(100 点法)

A: 100~80 点 B: 79~70 点 C: 69~60 点 D: 59~0 点 ・2 段階評価の場合

> 認:合格 否:不合格

※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4分の1を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。

卒業・進級の認定基準

(概要)

(概要)

個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3 3 人 (100%)	0人 (0%)	26人 (78.8%)	7人 (21-29/)

(主な就職、業界等)

映像業界、ゲーム業界

CGデザイナー、モーションデザイナー

(就職指導内容)

就職指導担当教職員・担任による就職指導

(就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、

コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等)

(主な学修成果(資格・検定等))

CGクリエイター検定エキスパート、ベーシック、色彩検定2級、3級

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88人	5人	5. 7%

(中途退学の主な理由)

病気、進路変更

(中退防止・中退者支援のための取組)

野	課程名 学科名		学科名 専門士 高度		専門士				
教養	文化・教養専門課	との CG科 ゲームCGコース				0			
日本	全課程の修	了に必要な総		開設	して	ている授業	業の種	類	
重仪	授業時数又に	は総単位数	講義	演習	UZI I	実習	実	験	実技
昼	出人	2700	360 単位時間 /単位	単位甲	寺間 単位	単位時間 /単位	/1	単位	単位時間 /単位 / 半 <i>(</i> 十 六)
	<u> </u>	五时间/ 毕位			2	7 0 0 4	即从时	削/	/単位
定員数	生徒実員	うち留学生数	数 専任	教員	数	兼任教	員数	総	教員数
40人	144人	0.	人				- / •		10人 の内数
	教養昼夜昼昼昼	 ・教養 文化・教養専門課金 昼夜 全課程の修行業時数又に 昼 単位 定員数 生徒実員 40人 144人 	・教養 文化・教養専門課程 グーム 昼夜 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 昼 2700 単位時間/単位 定員数 生徒実員 うち留学生数 40人 144人 0	・教養 文化・教養専門課程 CG科 ゲームCGコー ゲームCGコー グームCGコー 第義 昼夜 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 講義 昼 2700 単位時間/単位 定員数 生徒実員 うち留学生数 専任 40人 144人 0人	・教養 文化・教養専門課程 CG科 ゲームCGコース 昼夜 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 開設 講義 昼 2700 単位時間/単位 定員数 生徒実員 うち留学生数 専任教員 40人 144人 0人 4	・教養 文化・教養専門課程 CG科 ゲームCGコース 昼夜 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 開設して 講義 演習 昼 2700 単位時間 /単位 単位時間 /単位 2340 単位時間 /単位時間 /単位 単位時間 /単位 定員数 生徒実員 うち留学生数 専任教員数 40人 144人 0人 4人	・教養 文化・教養専門課程 CG科 ゲームCGコース 〇 昼夜 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 開設している授業 講義 演習 実習 昼 2700 単位時間/単位 単位時間 /単位 /単位 /世位 /	・教養 文化・教養専門課程 CG科 ゲームCGコース 昼夜 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 開設している授業の種 講義 昼 2700 単位時間/単位 単位時間/単位時間/単位時間/単位時間/単位時間/単位時間/単位時間/単位時間/	・教養 文化・教養専門課程 C G 科 ゲーム C G コース ・

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度4月に公開。

- ·科目名、授業方法、授業時間数
- ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール)
- ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書
- 目標資格
- ・履修上の注意
- · 成績評価方法
- ・年間授業計画(単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目)

成績評価の基準・方法

(概要)

シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点(課題評価点等)で総合評価点を算出する。A、B及びCを合格、Dを不合格とする。

(評価基準)

・4 段階評価の場合(100 点法)

A: 100~80 点 B: 79~70 点 C: 69~60 点 D: 59~0 点 ・2 段階評価の場合

認:合格否:不合格

※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4分の1を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。

卒業・進級の認定基準

(概要)

(概要)

個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27人(100%)	0人 (0%)	2 6 人 (96. 3%)	1人 (3.7%)

(主な就職、業界等)

映像業界、ゲーム業界

CGデザイナー、モーションデザイナー

(就職指導内容)

就職指導担当教職員・担任による就職指導

(就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、

コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等)

(主な学修成果(資格・検定等))

CGクリエイター検定エキスパート、ベーシック、色彩検定2級、3級

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 2 9 1	4 1	2 1 0/

(中途退学の主な理由)

進路変更

(中退防止・中退者支援のための取組)

分	野	課程名	科名	4名		専門士		高度専門士		
文化	教養	文化・教養専門課	グラフィック科 文化・教養専門課程 イラストコース			0				
修業	昼夜		了に必要な総		開設	して	こいる授業	業の種	類	
年限	重仪	授業時数又に	講義	演習	XIII	実習	実	験	実技	
2年	昼	1800		330 単位時間 /単位	単位時	单位	単位時間 /単位		単位	単位時間 /単位
		単位	拉時間/単位			1	800単	单位時	間/	/ 単位
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	数 専任教員		数	兼任教員数		総	教員数
1	60人 の内数	171人	0	人	6 の内	人数		2人 内数		18人 の内数

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度4月に公開。

- ·科目名、授業方法、授業時間数
- ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール)
- ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書
- 目標資格
- ・履修上の注意
- · 成績評価方法
- ・年間授業計画(単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目)

成績評価の基準・方法

(概要)

シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点(課題評価点等)で総合評価点を算出する。A、B及びCを合格、Dを不合格とする。

(評価基準)

・ 4 段階評価の場合(100 点法)

A: 100~80 点 B: 79~70 点 C: 69~60 点 D: 59~0 点 ・2 段階評価の場合

> 認:合格 否:不合格

※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4分の1を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。

卒業・進級の認定基準

(概要)

(概要)

個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他		
6 5 人	1 人	55人	9人		
(100%)	(1.5%)	(84.6%)	(13.8%)		

(主な就職、業界等)

広告業界、印刷業界、ゲーム業界

グラフィックデザイナー、DTPオペレータ、ゲームグラフィッカー

(就職指導内容)

就職指導担当教職員・担任による就職指導

(就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、

コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等)

(主な学修成果(資格・検定等))

色彩検定2級、3級、DTP検定ビジネス

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
152人	16人	10.5%

(中途退学の主な理由)

進路変更、病気

(中退防止・中退者支援のための取組)

分	野	課程名 学科		科名	科名		専門士		高度専門	
文化	· 教養	文化・教養専門課	程	グラフィック科 デザインコース			0			
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総		開設	して	こいる授業	業の種	種類	
年限	生仪	授業時数又に	講義	演習	LIX	実習	実	験	実技	
2年	昼	単位	330 単位時間 /単位	1470 単位時間 /単位 1		単位時間 単 /単位 800単位		時間 単位 計間 /	単位時間 /単位 /単 位	
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生				兼任教員数			教員数
1	60人 の内数	42人	0	人	6 の内	人数		2人 内数		18人 の内数

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度4月に公開。

- ·科目名、授業方法、授業時間数
- ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール)
- 科目概要、目標、教科書・教材、参考書
- 目標資格
- ・履修上の注意
- · 成績評価方法
- ・年間授業計画(単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目)

成績評価の基準・方法

(概要)

シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点 (課題評価点等) で総合評価点を算出する。A、B及びCを合格、Dを不合格とする。

(評価基準)

・4段階評価の場合(100点法)

A: 100~80 点 B: 79~70 点 C: 69~60 点 D: 59~0 点 ・2 段階評価の場合

> 認:合格 否:不合格

※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4分の1を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。

卒業・進級の認定基準

(概要)

(概要)

個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他		
24人	0人	20人	4人		
(100%)	(0.0%)	(83.3%)	(16.7%)		

(主な就職、業界等)

広告業界、印刷業界

グラフィックデザイナー、DTPオペレータ

(就職指導内容)

就職指導担当教職員・担任による就職指導

(就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、

コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等)

(主な学修成果(資格・検定等))

色彩検定2級、3級、DTP検定ビジネス

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47人	3人	6.4%

(中途退学の主な理由)

進路変更、病気

(中退防止・中退者支援のための取組)

分	野	課程名	科名	科名		専門士		高度専門コ		
文化	・教養	文化・教養専門課	程 Web	デザイン	科	0				
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総		開設している授業の種類					
年限	生仪	授業時数又於	講義	演習	IZ IZ	実習	実	験	実技	
2年	昼		1800	330 単位時間 /単位	単位即	.470 専間 単位	単位時間 /単位	単位 /	時間 単位	単位時間 /単位
		単位	単位時間/単位 1					1800単位時間/単位		
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	数 専任教員数 兼任		兼任教員数		総	教員数	
	80人	44人	0	人	2	人		4人		6人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度4月に公開。

- ·科目名、授業方法、授業時間数
- ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール)
- ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書
- 目標資格
- ・履修上の注意
- 成績評価方法
- ・年間授業計画(単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目)

成績評価の基準・方法

(概要)

シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点 (課題評価点等) で総合評価点を算出する。A、B及びCを合格、Dを不合格とする。

(評価基準)

・4段階評価の場合(100点法)

A: 100~80点 B: 79~70点 C: 69~60点 D: 59~0点 ・2 段階評価の場合

> 認:合格 否:不合格

※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4分の1を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。

卒業・進級の認定基準

(概要)

各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修 了した者を卒業と認定する。

学修支援等

(概要)

個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他		
1 8人	0人	15人	3人		
(100%)	(0%)	(83.3%)	(16.7%)		

(主な就職、業界等)

Web業界

Webデザイナー、Webエンジニア

(就職指導内容)

就職指導担当教職員・担任による就職指導

(就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、

コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等)

(主な学修成果(資格・検定等))

Webデザイン技能検定、Webクリエイター能力認定試験スタンダード

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44人	2人	4.5%

(中途退学の主な理由)

進路変更、病気

(中退防止・中退者支援のための取組)

分	野	課程名	科名	科名		専門士		高度専門士		
文化・	教養	文化・教養専門課	文化・教養専門課程 ミュージック科 ボーカリストフ°レイヤーコース			0				
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総		開設	して	こいる授業	業の種	緟類	
年限	生物	授業時数又に	講義	演習		実習	実	験	実技	
2年	昼	277	240 単位時間 /単位	単位印	単位	単位時間 /単位	,	単位	単位時間 /単位	
		单位	拉時間/単位			1	980単	包位時	間/	/単位
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	生数 専任教員		数	兼任教員数		総	教員数
	80人	6人	0	人		人		7人		19人
	の内数				の内	数	の	内数		の内数

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度4月に公開。

- ·科目名、授業方法、授業時間数
- ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール)
- ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書
- 目標資格
- ・履修上の注意
- · 成績評価方法
- ・年間授業計画(単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目)

成績評価の基準・方法

(概要)

シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点(課題評価点等)で総合評価点を算出する。A、B及びCを合格、Dを不合格とする。

(評価基準)

・4 段階評価の場合(100 点法)

A: 100~80点 B: 79~70点 C: 69~60点 D: 59~0点 ・2 段階評価の場合

> 認:合格 否:不合格

※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4分の1を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。

卒業・進級の認定基準

(概要)

(概要)

個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

	,				
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他		
8人	1 人	5人	2人		
(100%)	(12.5%)	(62.5%)	(25%)		

(主な就職、業界等)

音楽業界

(就職指導内容)

就職指導担当教職員・担任による就職指導

(就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、

コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等)

(主な学修成果(資格・検定等))

Protools技術認定試験、MIDI検定3級、ビジネス著作権検定初級

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 1 人	2 人	18. 2%

(中途退学の主な理由)

体調不良

(中退防止・中退者支援のための取組)

分	野	課程名		科名			専門士	·	高度	専門士
文化・	教養	文化・教養専門課	程	-ジック和 Mコース			0			
修業	昼夜	全課程の修		開設	して	ている授業	業の種	類		
年限	生仪	授業時数又は総単位数		講義	演習	UZI	実習	実	験	実技
2年	昼	1800		240 単位時間 /単位	単位印	単位	単位時間 /単位	,	単位	単位時間 /単位
		単位	拉時間/単位			1	980単	以此時	间/	/単位
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	数 専任	£教員	数	兼任教	員数	総	教員数
	80人	48人	48人 0.			入		7人		19人
	の内数				の内	数	\mathcal{O}	内数		の内数

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度4月に公開。

- ·科目名、授業方法、授業時間数
- ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール)
- ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書
- 目標資格
- ・履修上の注意
- · 成績評価方法
- ・年間授業計画(単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目)

成績評価の基準・方法

(概要)

シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点(課題評価点等)で総合評価点を算出する。A、B及びCを合格、Dを不合格とする。

(評価基準)

・4 段階評価の場合(100 点法)

A: 100~80点 B: 79~70点 C: 69~60点 D: 59~0点 ・2 段階評価の場合

認:合格否:不合格

※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4分の1を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。

卒業・進級の認定基準

(概要)

(概要)

個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人	1 人	12人	6人
(100%)	(5.3%)	(63.2%)	(31.6%)

(主な就職、業界等)

音楽業界、ミュージシャン

(就職指導内容)

就職指導担当教職員・担任による就職指導

(就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、

コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等)

(主な学修成果(資格・検定等))

Protools技術認定試験、MIDI検定3級、ビジネス著作権検定初級

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48人	5 人	10.4%

(中途退学の主な理由)

進路変更

(中退防止・中退者支援のための取組)

分	野	課程名		科名			専門士	·	高度	専門士
文化・	教養	文化・教養専門課	稈	ージックテ ベスコー			0			
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総			開設	じて	ている授業	業の種	類	
年限	生仪	授業時数又に	は総単位数	講義	演	N N	実習	実	験	実技
2年	昼	1800		240 単位時間 /単位	単位	単位	単位時間 /単位	,	単位	単位時間 /単位
		<u></u>	拉時間/単位			1	800単	地址時	間/	/単位
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	数 専行	£教員	数	兼任教	員数	総	教員数
	80人	7人	7人 0.			人		7人		19人
	の内数				の内	数	\mathcal{O}	内数		の内数

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度4月に公開。

- ·科目名、授業方法、授業時間数
- ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール)
- ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書
- 目標資格
- ・履修上の注意
- · 成績評価方法
- ・年間授業計画(単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目)

成績評価の基準・方法

(概要)

シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点(課題評価点等)で総合評価点を算出する。A、B及びCを合格、Dを不合格とする。

(評価基準)

・4 段階評価の場合(100 点法)

A: 100~80 点 B: 79~70 点 C: 69~60 点 D: 59~0 点 ・2 段階評価の場合

認:合格否:不合格

※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4分の1を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。

卒業・進級の認定基準

(概要)

(概要)

個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人	0人	3 人	0人
(100%)	(0%)	(100.0%)	(0%)

(主な就職、業界等)

音楽業界、イベント企画職

(就職指導内容)

就職指導担当教職員・担任による就職指導

(就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、

コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等)

(主な学修成果(資格・検定等))

Protools技術認定試験、MIDI検定3級、ビジネス著作権検定初級

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	3 人	30.0%

(中途退学の主な理由)

病気

(中退防止・中退者支援のための取組)

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

<u> </u>	•			
学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
メディアクリエイ ティブ学科	200,000円	581,000円	415,000円	
総合デザイン科	200,000円	581,000円	415,000円	
ゲーム科	200,000 円	581,000円	415,000円	
CG科 CG アニメーションコース	200,000円	581,000円	415,000円	
CG科 ゲーム CG コース	200,000円	581,000円	415,000円	その他:
グラフィック科 イラストコース	200,000 円	581,000円		維持費、実験実習費、 施設費、学生諸費
グラフィック科 デザインコース	200,000 円	581,000円		
Webデザイン科	200,000 円	581,000円	415,000円	
ミュージック科 ボーリカストプレイヤーコース	200,000 円	581,000円	415,000円	
ミュージック科 DTMコース	200,000円	581,000円	415,000円	
ミュージック科 ビジネスコース	200,000 円	581,000円	415,000円	

修学支援(任意記載事項)

岩崎学園奨学生制度、岩崎学園震災特別対応基金制度、特待生制度、等日本学生支援機構の給付型奨学金の採用候補者に対して、入学金は入学意思の確認のため一旦納入をお願いしつつ、希望者には授業料等の学費については入学後に授業料等減免額を減じた金額の分割納入を認めている。その他、個々の学生の状況・希望に応じた柔軟な対応を実施している。

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

URL: https://yda.iwasaki.ac.jp/admissions/disclosure/

学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)

学校目的を達成するための目標設定や具体的計画について、達成状況や取り組みの適切さを自己評価として行い、その結果について、本校に定める学校評議委員会が評価を行う。その目的は、学校評価の精度を上げ、客観性を高めるためのものであり、企業、地域代表、卒業生の意見を積極的に汲み取り反映させる。そのため、学校関係者評価委員会を組織し、学校の活動内容を各委員に周知するとともに、意見交換を行う機会を設ける。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
神奈川県立神奈川総合産業高等学校	令和5年4月1日	校長
	~令和7年3月31日	
横須賀商工会議所	令和4年4月1日	企業等委員
	~令和6年3月31日	
株式会社髙陽印刷所	令和4年4月1日	企業等委員・卒業生
	~令和6年3月31日	
株式会社ブルーム	令和5年4月1日	企業等委員
	~令和7年3月31日	
株式会社フジパシフィックミュージ	令和4年4月1日	企業等委員
ック	~令和6年3月31日	
With Bulk Har Felh Bloom A 1.VI.		

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

URL: https://yda.iwasaki.ac.jp/admissions/disclosure/

第三者による学校評価(任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

URL: https://yda.iwasaki.ac.jp/

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄(合計欄を含む。)について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H114310000429
学校名 (○○大学 等)	横浜デジタルアーツ専門学校
設置者名 (学校法人○○学園 等)	学校法人岩崎学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者(家計急変 による者を除く)		132人	117人	_
	第I区分	89人	82人	
内	第Ⅱ区分	25人	24人	
訳	第Ⅲ区分	18人	11人	
	第IV区分	0人	0人	
	十急変による 対象者(年間)			_
	計(年間)			135人
(備考)				

- ※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅲ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。
- 2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数
- (1)偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより 認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専 攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含 む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のもの に限る。)	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了で きないことが確定	-	0人	_
修得単位数が標準単位数の 5割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学 修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して 該当	0人	0人	0人
計	_	0人	_
(備考)	ス担 <i>人に</i> 記載すること		

[※]備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

				ものに限り、認定専攻科を含む。)、高 む。)及び専門学校(修業年限が2年以	
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

[※]備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の 停止を受けた者の数

1 = 6,0,101 - 3,			
3月未満の停学	0人		
訓告	0人		
年間計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の 6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	24人	0人	_
出席率が8割以下その他学 修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	24人	0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。